

# 5・7・5に乗せて



## 愛媛若葉ひろみ句会

幽けしや五感の拾ふ浅き春

伊藤 京

ま青なる空よひとりの初まいり

浜田 千鶴

やわらかに稚児のうたたね春日差す

高田 弘子

立ち止まる時がうごいて浅き春

高橋 妙

猫柳指に伝わる暖かき

福本 恵子

縫初の穴閉じし糸空の色

井谷 けい

水凍るにちちもさつちもいかぬ朝

藤田 光子

豊作の願い叶うか寒九の雨

松岡 寛孝

## 愛治俳句会

春神楽神が櫛で鬼を打つ

久保田由布

蠟梅の一枝厠の窓に挿す

氏本佐喜恵

床の間に梅活けてあり集会所

金子 和子

わが家に響き来るなり卒業歌

末廣 典子

おでん食ぶ今日は大根づくしなり

善家 初穂

初糶の仔牛一声小屋を出る

土居原佳子

凧一つ揚がらぬ峡の空深し

古谷 久代

山肌を斜めに走る寒の雨

渡邊三代子

## 消費生活だより



## 「法テラス」は法的トラブル解決のための 公的な支援機関です

「サラ金で借りた借金を放置していたら、突然知らない会社から督促状が届いた。それも無視していたら、裁判所から支払い督促が来た」というような相談をよく受けます。

債務整理をしたいけれど、弁護士費用が払えない…という方には「法テラス」への相談をお勧めしています。「法テラス」の民事法律扶助業務は、経済的に余裕がない方が法的トラブルにあった時に、無料で法律相談を行い、弁護士・司法書士の費用の立替えを行う業務です。

ただし、援助を受けるには、次の条件を満たす必要があります。

- ① 月収、預貯金や不動産などが一定額以下であること。
- ② 勝訴の見込みがないとはいえないこと。
- ③ 民事法律扶助の趣旨に適すること。

また、法テラスの事務所が遠い場合は、法テラスと契約している専門家に直接問い合わせることもできます。できるだけ早い段階で法律相談を受け、早期にトラブルを解決できるように心がけましょう。

詳しくは、鬼北町消費生活相談窓口(45-1111)にご相談ください。



おなやみなし

**法テラスサポートダイヤル 0570-078374**

## きほくのまち人探訪

### 「令和の花咲かじいさん、ふるさとの賑わいを夢見て」



なす ふみのり  
那須 史憲さん

生まれ故郷の富母里地域を、人が訪れ賑わう場所に…。そんな思いで、自宅裏のゆず畑を「花の森」に生まれ変わらせるプロジェクトに取り組んでいる、那須史憲さん。「花を見て怒る人はいない。花は人間を優しくしてくれる」と花の魅力を語りながら、種々の花木を植えています。

那須さんが憧れを抱いている福島県の「花見山公園」は、春になると桜・花桃・蠟梅などが一斉に咲き誇る、見事な景観に。「日吉にもこんな風景を作りたい!」と昨年の春から始めたプロジェクトには、日吉中学校の生徒が、郷土学習の一環でアジサイの苗植えを手伝ったり、卒業記念樹

として枝垂桜を植樹するなど、那須さんの思いが地域にも波及しています。

知り合いから苗木の提供や、苗代の寄付の申し出もあり、「涙が出るほどうれしい」と喜ぶ那須さん。協力してくれる方々の思いを背に、十数年先のふるさとの賑わいを夢見て、小さな苗木の1つひとつに願いを込めながら取り組みます。「人口減少・少子高齢化などと嘆いてばかりでは何も良くならない」「満開の枝垂桜が、棚田を流れ落ちる滝に見えるようにしたい」と汗を流す那須さんの姿勢は、真っすぐな郷土愛で溢れていました。

## ALTの鬼の里Diary ~Brian編~

### 「Let's exchange languages!」



今月で鬼北町に来て1年になります。鬼北町の皆さんはとても親切で、おかげでステキな時間を過ごせています。私は英語を教えることが大好きなので、学校で働くことがすごく楽しいです。

文化や言語を交換するために、鬼北町の皆さんにお願いがあります。それは、皆さんの趣味や仕事について知りたいので、ぜひ気軽に話しかけてほしいということです。毎日日本語の勉強を続けていますが、まだすごく大変です。

先日、ポッポ温泉で知り合った方に「三寒四温」という言葉を教えてもらいました。また、三島小学校の校長先生と天気について話したときに「小春日和」という言葉

を知りました。僕は気象について特に興味があるので、それに関する日本語を知れてとてもうれしかったです。愛媛県の季節や天候について、もっと学びたいと思っています。また、最近は漢字の勉強のために毎日、愛媛新聞を読んでいます。新聞をすらすら読めるようになることは、今年目標の1つです。漢字の読み方や文法など、覚えることが多過ぎますが、とても楽しいです!

日常会話にも使えるような表現や話し方も、もっともっと学びたいので、お話しする中でたくさん教えてください!これからもよろしくお願いします!

## 地域おこし協力隊活動日記

地域おこし協力隊3年目

あわの まさおみ  
栗野 正臣



昨年12月に紙漉きが始まり、今日に至ります。今年は、町内の小中学校などの紙漉き体験が数回催されました。普段、作業所に籠って黙々と作業しているので、どうしても交流が少なくなってしまう。そのような中で、泉貨紙(手漉き和紙)の歴史や作り方を知っていただく貴重な機会となりました。

また、紙漉きを体験された方の多くが、難しい中にも面白さを見出されていたようでした。

紙漉きのよい所は、「今この瞬間」に集中できる所だと思います。漉いている最中は、一瞬の油断が失敗につながるの

余計なことを考える暇がほとんどありません。個人種目のスポーツをやっている時に近い感覚かと思われま

す。同じ動きを繰り返す作業が続くため、体にこたえる部分はありますが、同時に感覚器官や精神を整える効果もあるのではないかと感じています。

紙漉きが癒しをもたらすツールとして、いつか注目されるのでは…と密かに期待しております。

